



三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社
交通・機器事業部

事業部概要

社名	三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社(略称/MHI-TC) MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES TRANSPORTATION AND CONSTRUCTION ENGINEERING, LTD.
本社所在地	〒108-8015 東京都港区芝五丁目33番11号
交通・機器事業部 所在地	〒729-0393 広島県三原市糸崎南一丁目1番1号
サービス部 東京事務所	〒210-0824 神奈川県川崎市川崎区日ノ出二丁目16番20号
サービスセンター	北海道、千葉、羽田、名古屋、関西、広島、九州、鹿児島、沖縄

事業内容

輸送機器の設計製作からアフターサービス

ホームドア、パッセンジャーボーディングブリッジ(旅客搭乗橋)

電気・電子制御システムの企画・開発設計・製作からアフターサービス

電子回路&プリント基板の開発設計・プリント基板&制御装置の製造、画像処理システム等

港湾輸送機器・一般産業機械・環境化学機器の設計製作からアフターサービス

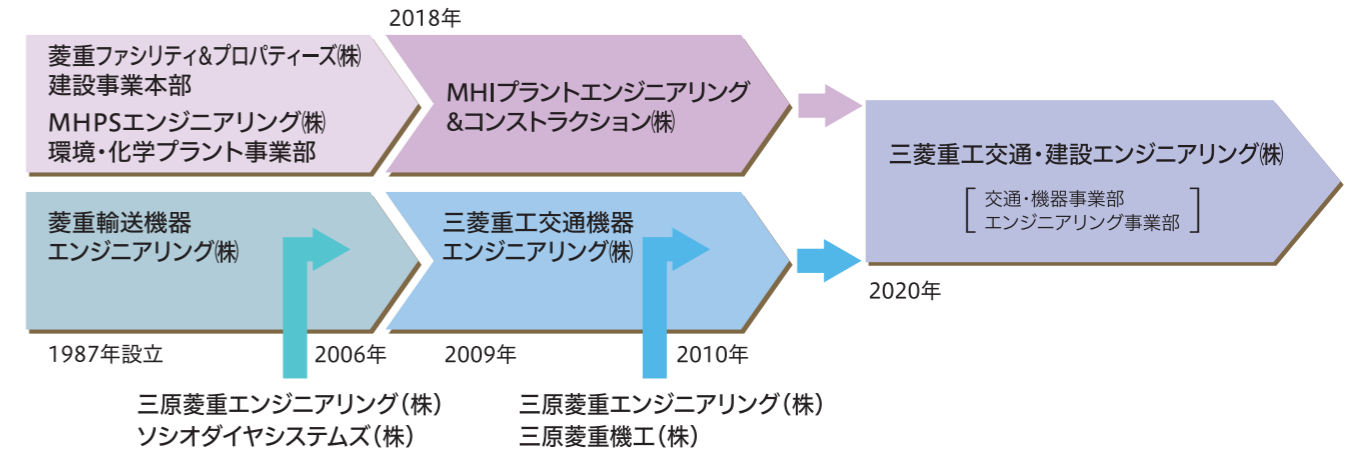
穀物用アンローダ、繊維梱包装置、IT関連特殊プレス、製紙機械、ガス/ガスヒーター、燃料ガス加温減圧装置、高温高圧熱交換器等

三菱重工 交通システムのエンジニアリング及びアフターサービス

交通システム・モノレール、鉄道車両用エアブレーキ装置、確認車、鉄道保全車両等



沿革



事業部方針

環境への取り組み

交通・機器事業部は、環境保全への取り組みを事業経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、環境負荷低減に努めるとともに、持続可能な社会の発展に貢献します。

行動指針

1. 環境管理体制を構築し、設定した環境目的および目標を確実に実施、評価、改善することにより、環境マネジメントシステムの継続的な向上に努めます。
2. 環境関連法規、条例、協定等を遵守するとともに、必要に応じて自主管理基準を定めて運用、評価し環境管理の向上に努めます。
3. 環境負荷低減に貢献する技術と製品の開発およびサービスを社会に提供します。
4. 製品の開発、設計、調達、製作、運転、据付、販売、サービスから廃棄に至るすべての事業活動において、汚染の防止、省資源、省エネルギー、廃棄物の発生抑制、再利用、リサイクル等、環境保全および環境負荷低減に努めます。
5. 環境教育、訓練、広報活動を通じて社員の環境意識の向上を図り、環境問題に関心を持ち模範的行動がとれる人材を育成します。
6. 地域社会の一員であることを認識し、環境保全のための社会活動に積極的に参加します。
7. 環境方針など環境保全活動の情報公開に努め、社会から信頼される企業を目指します。

2023年7月1日

三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社

代表取締役 常務執行役員
交通・機器事業部長

松原修身

品質への取り組み

交通・機器事業部(以下「事業部」)は、顧客第一の信念のもと、顧客満足の達成を事業活動の基本目標として、次の基本方針を定めます。

基本方針

1. 法令、契約、規格、標準等を満たすことおよび品質不正予防を確実にするため、リスクの洗い出し、教育の実施、内部監査の実施、報告制度の周知を徹底します。
2. 顧客の要求事項および法令・規則要求事項に適合するために、品質マネジメントシステムを確立し、これを実行・継続し、その有効性を継続的に改善します。
3. 事業部としての品質目標を定め、その品質目標を具現化するために、部門ごとの責任・機能を生かした品質目標を定め実行します。
4. 定期的実施するマネジメントレビューにおいては、品質方針の見直しを行い、その適切性を維持するとともに、品質マネジメントシステムの有効性が維持され、継続的に改善されていることを確認します。
5. 事業部の品質方針は、従業員に周知し、顧客満足を理解させることにより、有効な活動につなげます。
6. すべての部門長は、自部門および他部門との相互関係における品質保証に関係するすべての業務を、品質マネジメントマニュアルに従って遂行します。
7. すべての部門長は、品質方針に基づいた品質改善システムを設定し、そのサイクルを回して、これを定期的に見直すとともに、その達成度とマネジメントレビュー等の実施により、品質マネジメントシステムの有効性の継続的改善を実施します。

2025年4月1日

三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社

代表取締役 常務執行役員
交通・機器事業部長

松原修身

鉄道駅ホームでの乗客の安全性を確保

ホームドア

駅ホームからの転落・車両との接触事故から乗客の安全を守ります。ドア数の異なるタイプの車両や自動運転のない(ATO/TASC未導入)路線にも対応した画期的なホームドアを提供します。当社が持つ土木・建築部門との一貫体制により、ホーム診断や床面段差解消施工などのご提案が可能です。



当社ホームドアの特長

One Stopでの事業管理体制

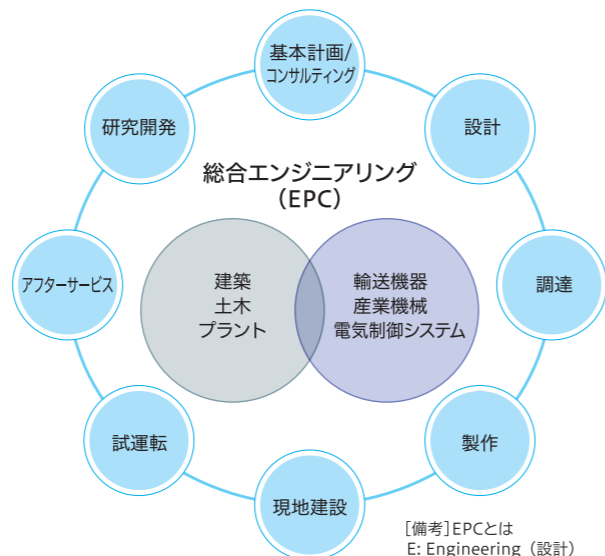
当社はホームドアの設計・製造・電気/土木・建設工事・アフターサービスを一括して対応できる“One Stop事業管理体制”を構築しており、工事管理を含めて全ての業務の窓口一元化を図っています。ホームドア機器製作/据付のみならず駅改修工事なども対応可能です。

異なる車両ドアへの対応

ドア数の異なるタイプの車両に対し、多段ドア併用等により幅広い路線への対応が可能です。

地上完結型簡易連携システム

車両を改造することなく、地上設備のみで車両ドア開閉タイミングに合わせてホームドアの扉を自動開閉できるシステムを提供します。



【備考】EPCとは
E: Engineering (設計)
P: Procurement (調達)
C: Construction (建設) の略称

多段ドアホームドア



地上完結型連携システム



地上完結型連携システムは、お客さまの仕様によって、3種のセンサによる制御を行い、複数車両の判別、車両数の認識、停止位置の確認等、適正なホームドアの開閉位置管理を行っています。



停止位置検知センサ



ドア開閉検知センサ



在線検知センサ

保守点検サービス



リモート操作によるメンテナンス

空港・港湾での乗客の安全性と快適性を提供

パッセンジャーボーディングブリッジ(PBB)

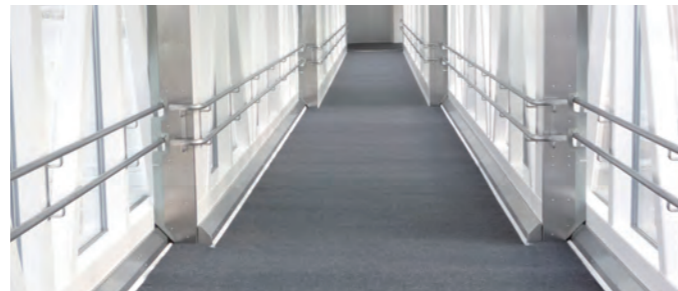
空港ビルと航空機を繋ぎ、業界最高峰のバリアフリーレベルで安全・快適に搭乗できるPBBを提供します。当社の土木・建築部門との一貫体制により、ロタンダ基礎流用や固定橋を含めたベストなご提案が可能です。

バリアフリー(フルフラット)型PBB



東京国際空港国際線(ガラスタイプ)

バリアフリー型PBBは、これまで構造上避けられないと考えられていたトンネル間に生じる段差を独自の新機構導入により取り除き、大小トンネル通路床を同一レベル化することにより、完全バリアフリーを実現し、乗客の安全性と快適性を提供します。



段差のない床構造を実現

小型機対応PBB



宮崎空港 小型機対応ロングPBB(第12回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰受賞)



宮崎ブーゲンビリア空港PBB

UD PBB(ユニバーサルデザイン)



新千歳空港PBB

UD PBBは、バリアフリー型PBB新シリーズとしてフルフラット構造をシンプルかつ軽量化を実現したことにより既設ロタンダ基礎の流用性を向上し、イニシャルとメンテナンス費用が低減されます。

主な特徴

複雑なステップレス機構を無くし、シンプルな構造で、段差の無い快適性を実現



旅客搭乗橋自動装着システム

画像処理技術を駆使して、航空機の機種及び駐機位置に応じて迅速かつ安全に旅客搭乗橋を自動的に装着します。



成田国際空港PBB

船用PBB

Mitsubishi Marine Bridge (MMB)は、種類の異なる船に対応し、潮の干満、船の軽荷・満載にも左右されずキャブ+栈橋は常時水平を保持し、可動栈橋を安定して装着できるなど優れた性能と安全性の高い船用PBBです。



八戸港MMB

高品質と安全性のニーズに豊富な経験と技術力で対応

電気・電子制御システム

各種制御装置や画像・センサ技術を応用したシステムの企画・開発設計・製作からアフターサービスを行います。

エレクトロニクス製品の開発・製造・アフターサービス

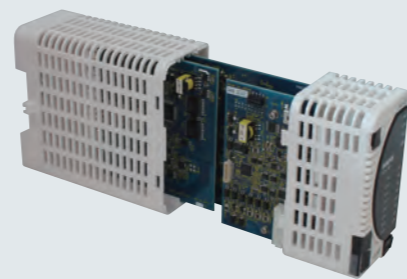
豊富な経験を通じて蓄積した信頼性の高い電子回路設計及びソフトウェア技術を生かし、各種制御基板の開発設計を行い自社工場にて製造、納入後のアフターサービスまで一貫して行います。



産業機械用制御基板



キネマティックGPS受信機



DCS用制御モジュール



表面実装リフローライン



卓上はんだ付けロボット

輸送・産業機械用制御盤

各種機械制御用の制御盤・操作盤の設計・製造を行います。



画像処理システム等

画像処理・各種センサ技術を駆使して、革新的なシステムを開発・提供します。



ホームドア用安全センサ



人參選別装置

機器(港湾輸送機器・一般産業機械・環境化学機器)

高品質と安全性のニーズに応え、設計・製作から現地工事S/Vまで、豊富な経験と技術力で対応します。

港湾輸送機器



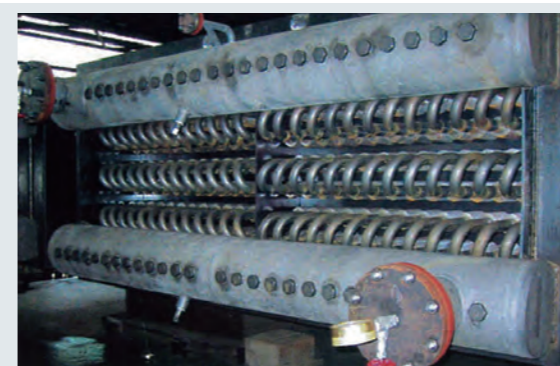
穀物用アンローダ

一般産業機械



梱包機

環境化学機器



ガス・ガスヒーター



高温高圧熱交換器

交通システムの円滑な運行と乗客の安全性を確保

三菱重工 交通システム・制御装置

交通システムの円滑な運行と乗客の安全確保のためにアフターサービスを提供します。



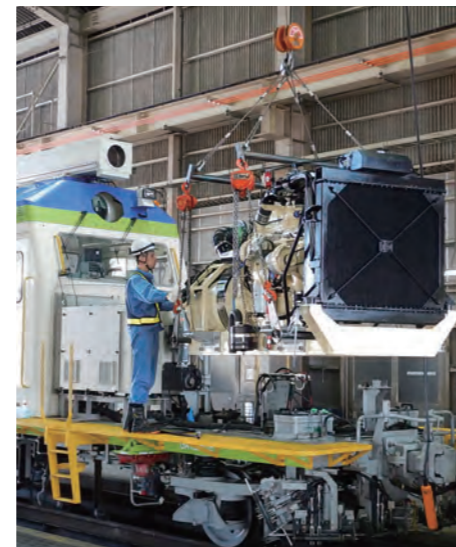
懸垂型モノレール(千葉都市モノレール)



モノレール車両点検



新交通軌道設備保守点検



確認車・保全車の保守点検

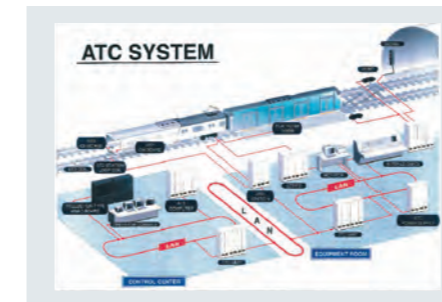
エンジニアリング

交通システム全般のエンジニアリング及び各種要素技術を提供します。

交通システム構成



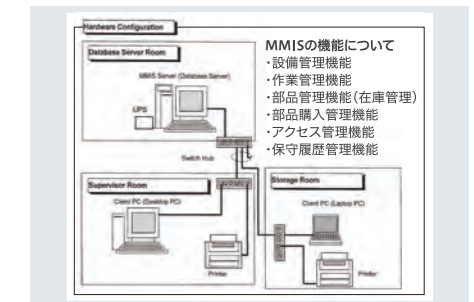
列車運行管理システム



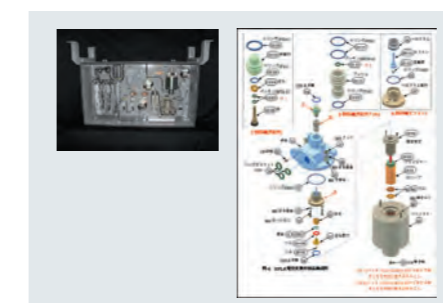
3D-CADによる車体外観・内装の設計



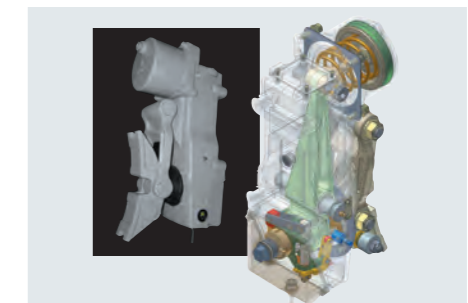
MMIS (Maintenance Management Information System)



ブレーキ制御装置の構造設計



ユニットブレーキの構造検討





三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社

交通・機器事業部

〒729-0393 広島県三原市糸崎南一丁目1番1号

TEL(0848)67-7340(代表)

<https://www.mhi.com/jp/group/mhitc/>